

火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～

奈良の都に隠された歴史の秘密を解き明かし、
人生を一瞬にして変えてしまうほどの
劇的な「ご縁」を繋ぐ方法をお伝えします。

こんにちは
こがみのりです。

今回、この火鳥風月のメルマガ読者様限定で、
飛鳥時代に隠された歴史の秘密から「ご縁」を結ぶ方法
をお伝えする講座をご用意しました。

ご縁とは何か？

これを一言で表すのは非常に難しいことでしょう。

私はこれまで、「茶肆ゆにわ」での営業を始め、
セミナーや講演会などの活動を通じて何千という人と出会い、
その相談に乗ってきました。

そして、まさにその人の人生が
180°変わってしまうような瞬間に何度も立ち会ってきたのです。

「どうすれば人生は良くなるんだろう...？」

誰しもがそんな悩みを抱え、日々を生きています。

そして、誰一人として例外なく人生が劇的に変わる瞬間こそが
人とのご縁が繋がった瞬間だったのです。

私自身、人生の師である北極老人と出会い、そのご縁が繋がった瞬間に、
自分の目の前に広がる景色が一変しました。

ですが、多くの方はそもそも人生を変えるような「ご縁」を引き寄せることができず、
仮にその「ご縁」を引き寄せられたとしても、それを次の「ご縁」へと
上手く繋ぐことができていないのです。

そのため、いつまで経っても今の日常から抜け出すことができず、
どれだけ行動しても、本を読んでも、人生を変えることができません。

だからこそ今回、
「ご縁」をテーマにした講座をご用意させていただきました。

そして今回、長い日本の歴史の中でも、
「飛鳥時代」を選んだのにも深い理由があります。

詳しくは後ほど説明していきますが、
実は、飛鳥時代は日本の歴史や日本人の精神性を語る上で、
外すことのできない非常に重要な時代なのです。

教科書で一般的に語られている歴史には、
その裏に隠された秘密があり、その秘密を解き明かすことで、
私たちの生きる指針とも言えるものを学び取ることができます。

そこで、これからその歴史に隠された裏側の話はもちろん、
その学びを日々の生活にどう活かしていくのかを全てお伝えしようと思います。

これを読むだけでも、歴史の勉強になりますし、
古来の日本人の精神性に触れることができるでしょう。

そして歴史を学び直す重要性に気づき、
もっと知りたいと思えるようになるはずです。

日本人が歴史に興味を持たない理由

自国の歴史や文化について、日本人はあまりにも知りません。
それどころか、そもそも歴史そのものに興味がないという方がほとんどでしょう。

実は、私たちが歴史に対して無関心であることによって、
先人から受け継がれてきた日本人としての生き方や
生きるための知恵が消えかかっているのです。

...とはいえ、そうは言ってもピンとこない人が多いのかもしれませんが。

「自国の神話（歴史）を学ばない民族は滅んでしまう」

そうイギリスの歴史学者であるアーノルド・トインビーは言っていますが、日本は今まさにそのような、危うい状況になっているのです。

もちろん、今の平和な日本を見れば、肌感覚として危機感を感じることはあまりないでしょう。

しかし、日本という国はどういう成り立ちで、世界の中でどういう役割を担い、何が誇れるのか。

明確に答えることはできるでしょうか？

他にも、例えば「戦争」というワードからは、なんとなく負い目を感じてしまうようなことはないでしょうか？

つまり、私たち日本人は自分の国のことを理解し、誇りを持つことができていないのです。

もっと言えば、そうなるよう仕向けられてしまっているのです。

日本以外の国に目を向けてみると、どんなに貧しい国の人でも、自信を持って自国の歴史について語り、その偉大さに誇りを持っています。

いわば、日本だけが自分の国のことを誇れていない状況になってしまっているのです。

実は日本は、戦後から今に至るまで、ずっと米国主導によって日本国民が歴史について興味関心を持たないように意図的な教育がなされてきました。

その結果として、戦後 70 年以上経過した現在でも日本人は戦争に罪悪感を感じ、臭い物に蓋をするかのごとく、歴史に無関心な態度を取るようになり、自国に誇りが持てないようにされてしまったのです。

失われた日本人的な生き方

その中で、日本は歴史とともに失ってしまったものがあります。それが 日本人の生き方、先人たちからの生きる知恵であり高い精神性なのです。

もちろん、今はこれらが完全に失われてしまったわけではありません。
ですが、日本は知らず知らずのうちに骨抜き状態にされてしまっているのが現状なのです。

戦後の日本はライフスタイルが大きく変化しました。

分かりやすい例として、
女性の働き方、家族構成の変化があります。

家を守る存在であった母親が、外に出て働くようになり、

家族構成は大家族でおじいちゃん、おばあちゃん、
さらには曾祖父母がいることもありましたが、
今では核家族がほとんどになっています。

また、本来は家庭を支え、守るべき存在である母親に対して
「働いていない女性はダメだ！」というような、
社会的な立場も低く見られがちな状況になってしまっています。

それも「働いている女性の方が素晴らしい」というような
世間的なイメージが持たれるよう“意図的な操作”があったからなのです。

では、なぜこのような変化があったのでしょうか。

「資本主義経済に合わせてライフスタイルが合理化されたからだ！」

そうマスメディアでは言われていますが、実はそれは表面的なことで、
その裏では日本人の意識変化が水面下で進められていたのです。

日本古来の生きる知恵、高い精神性が次世代に継承されないように奪い、
代わりにネガティブなイメージを日本人に植え付けていたのです。

昔の日本人は家族団らんとしていて、その中で人と人との深い関係を築き、
先人の知恵が受け継がれていました。

それが本来持っている日本人としての生き方だったのです。

ですが、今ではもはやそのような機会はほとんどありません。

その結果、自国に誇りが持てず、

生き方の知恵も教わっていない人がたくさん増えてしまったために
どうしたらいいのか分からず、軸がない状態でフラフラと
自分探しや生き方の正解探しをする人で溢れるようになりました。

そうやって、日本の歴史も神話も精神性も全部ねじ曲げられて、
本来あるべき形というのを教えてもらえなくなったことによって
日本人的な生き方が失われつつあるのです。

知恵を体得する方法

そして、日本の歪みは、
近代史に全て詰まっているといっても過言ではありません。

とはいえ、先人の知恵を得ようと近代史を学ぶ人は増えてきていますが、
近代史だけを学んでも、日本には縄文時代から続く約2万年の歴史があり、
局部的に見ては本当の意味で理解することができないのです。

さらにいえば、日本だけを見ていたのでは、
歴史の全体像を捉えることはできません。

なぜなら、世界とのつながりの中で日本は存在していて、
日本史だけを見ても見えてこないことがたくさんあるからです。

ちなみに、こうして日本史と世界史を分けて歴史を教えることも、
歴史に無関心な日本人を量産することを助長しています。

そして、その根源にも今の日本人が生き方や間違っている歴史に対して
疑問を持たないようにするための歴史教育があるのです。

歴史教育について、部分的に語るのは簡単ですが、
そこだけを知ってもただの知識としてしか入って来ず
自分ごととしての実感が湧くことはありません。

日本と世界の歴史を合わせて学び、

「なぜその出来事が起こったのか？」
「どんな時代背景があったのか？」
「当時の日本人の生き方はどうだったのか？」

ということに合わせて学ばなければ、

知識にはなっても、知恵になることはないのです。

手触りを伴った実践的な学びを得るために一番大事なのは、人と関わり、生き方、熱量を間近で体感することです。

さらに言えば、その人の発する「波動」の中に全ての情報が詰まっているので、その波動を浴び続けることができると早いのです。

知恵とは身体で感じて体得するものなので、実践があって初めて身につくものです。

身体で感じ、実践して、また身体で感じる...

その繰り返しの中で日々の学びを腑に落とすことができた時、単なる知識がこれからの人生を支える知恵となるのです。

日本人の高い精神性と知恵の源泉

だからこそ、火鳥風月では、歴史をただの情報として知るのではなく、知恵を体得してもらうことを目的として活動しています。

例えば、日本人の高い精神性の歴史を振り返ると、縄文時代にまで遡ることになります。

縄文時代は約2万年前に存在していた日本が世界に誇るべき文明ですが、実は驚くべきことに、発掘された縄文時代の人骨からは争いによる傷が見つかりません。

縄文時代といえば、場合によっては「貝塚があって、縄文土器があって...。」という程度のことしか学校では教えられません。

ですが、実際は「皆で和する」ことのできる社会システムが整っていたため、争いの全く必要ない高度な文明が長い間続いていたのです。

正直、縄文時代に関しては、それだけで講座ができてしまうぐらい伝えたいことが膨大にあります。

その全てをここでお伝えすることはできないのですが、こうして教科書では全く駆られていない歴史の側面を見ると、私たちは日本人の真実を知り、そのルーツを辿ることができるのです。

そして、今回の講座で取り上げるのは「飛鳥時代」です。

なぜ飛鳥時代なのか？

実は、縄文時代から脈々と受け継がれてきたものが大きく変化した時代こそ、飛鳥時代だったのです。

国の命運を見るときは1300年単位で見るといわれていますが、実は飛鳥時代の歴史が明治維新以降の日本の近代史とリンクしていて、これらは同じように歴史の転換点となっているのです。

だからこそ近代史を紐解く際には、飛鳥時代の歴史と、その時代に生きた先人の知恵を知っておく必要があるのです。

例えば、飛鳥時代を代表する歴史上の人物といえば、聖徳太子です。

この聖徳太子の作った十七条憲法抜きには、日本人の精神性を語ることはできません。

日本という国は「やり方」ではなく、「在り方」によって国土を保って来た国でした。

そして、十七条憲法には日本人の「在り方」が明文化されているのです。

この十七条憲法が聖徳太子によって作られたのがまさに飛鳥時代なのです。

ですが、これは逆の見方をすれば、「あえて明文化する必要があった」ということ。

つまり、縄文時代から続いてきた平和な時代から激動の時代に移り変わったため、保たれていた安寧が乱れ始めてしまったということなのです。

そして、その戒めとして「在り方」を明文化せざるを得なかったのです。

それほど大きな時代の変化があったのが飛鳥時代だったということです。

歴史の教科書のウソ

また、その飛鳥時代に活躍していた主な氏族として
蘇我氏、藤原氏、物部氏がいます。

実は、この三者の関係にも大きな秘密が隠されているのです。

例えば、この三者の中でも、「蘇我氏は悪者だ！」という
イメージが強い方もいらっしゃるのかもしれませんが。

ですが、実はそれが真実ではないことが
最近の研究で明らかにされてきたのです。

たしかに、学校で学んだ教科書の内容は

蘇我入鹿（そがのいるか）は大悪人であり、大化の改新（乙巳の変）によって 中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）と中臣鎌足（なかとみのかまたり）が成敗した

と書いてあることでしょう。

そして、当然こう書かれている教科書にも元ネタがあって、
今回のセミナーで扱う飛鳥時代は『日本書紀』と呼ばれる歴史書を参考にしています。

日本書紀は日本国で最初の歴史書であり、正当なものとして国家が認めています。

つまり、現在の教科書の歴史は日本書紀を正しいものとして記述されているのです。

ですが、実は最近の研究で、
「日本書紀に書かれている内容は嘘だった」という証拠が出始めているのです。

では、なぜウソが書かれていたのか？

実はここにこそ、飛鳥時代と現代とを繋ぐ大きなカギが隠されています。

日本書紀にウソの記述があったように、
今の教科書にもウソの記述が存在しています。

そして、そのウソを読み解き、
その裏側に存在していた時代背景や思惑を読み解くことで、

日本の歴史に隠された「知恵」を授かることができるのです。

古代史から学ぶご縁の結び方

そこで今回、飛鳥時代に隠された歴史を紐解き、
その裏側に隠された秘密に迫る講座をご用意しました。

日本で初めて「日本人としての在り方」が明文化された時代でもあり、
今の時代をウツしている「蘇我氏、藤原氏、物部氏」という三者が
存在していたのが飛鳥時代です。

そして、実は今回の飛鳥時代の秘密を読み解くことで、
普遍的に使える「**ご縁の結び方**」を体得することができるのです。

歴史をただの情報として知るのではなく
「知恵」として体得してもらうのが火鳥風月での学びです。

そこで、今回の講座では、日本が大事にしてきた「和する」という精神を
結びという観点から感じ取り、日本についてより知ってもらおうと考えています。

歴史には時代ごとに登場人物がいて、一人ひとりに神話が眠っています。

今回で言えば、藤原氏や蘇我氏、聖徳太子など、
彼らにはそれぞれ独自の神話が存在しました。

聖徳太子と蘇我氏が出会い、
また、その蘇我氏と藤原氏との関係性の中で、
様々な神話が生まれていったのです。

「歴史は繰り返される」と言われますが、
過去の事象と、現在目の前で起こっている事象との間には何らかの共通点があります。

その「フラクタル（相似象）」になっている物事の因果律を見つめることで、
善悪を統合した先の進むべき道が見えてくるのです。

そして、時代も、人の生き方も「フラクタル（相似象）」となっているため、
先人の生き方の中にも、必ず現代の自分は共通するものが眠っています。

それを学ぶのが、今回ご用意した講座である
「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」なのです。

それでは、これから具体的に今回の講座で学べる内容をお伝えしていきましょう。

火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～ セミナー内容

今回の「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」ですが、
映像講義が主な講座の受講方法となっています。

映像の受講時間は90分になります。

この90分の中では、飛鳥時代の基本的な歴史の話から、
その裏側に隠された秘密まで、全てを徹底解剖してお伝えしていきます。

90分という時間以上に濃いものを受け取っていただけますし、
「講義内容をどう日常まで活かしていくのか？」というところまでお伝えしているので、
歴史に興味がある方はもちろん、そうでない方にとっても非常に学びのある内容となっています。
単なる歴史の勉強ではなく、
その裏側に流れる偉人たちの「神話」を捉えることで、
実生活にまで活かせる知恵を習得することができるのです。

ちなみに、少しだけ今回の講座でお話した内容をお伝えすると...

- ・日本の古代史で活躍したそれぞれの氏族について
- ・蘇我氏と藤原氏の真実
- ・当時の人が政治的、宗教的に重要視していた意外なものとは？
- ・聖徳太子が魅せた志、どのようにして日本を守ったのか？
- ・元興寺と興福寺のひみつ
- ・興福寺の千手観音と阿修羅像は何を表しているのか？
- ・日本は朝鮮半島よりも進んだ国家だったのか？
- ・元興寺と興福寺の間にある猿沢池の意味
- ・聖徳太子および蘇我氏の無念の死をどのように捉えるとよいのか？
- ・人が生まれてきた理由
- ・人と人のご縁を結びに変えるために必要なこと
- ・思い出だけで気持ちが落ち込むような過去と向き合うためにどうするべきか？
- ・相似象を掴むために何を意識すると良いのか？
- ・理想と矛盾を乗り越えて前に進む方法
- ・過去のトラウマをエネルギーに昇華する方法
- ・ご縁を結べる人と結べない人との違いとは

- ・未来への不安を払拭するための知恵
- ・神様から愛される生き方とは
- ・人生をなかなか変えられない最大の理由
- ・全ての人間関係の土台となる「出会いのストーリー」とは？
- ・理想的な人とご縁を結ぶためのステップ
- ・自由自在にご縁を結ぶための心得
- ・ご縁を結びに変えて幸せになる方法
- ・かぐや姫の登場人物のモデルとなった意外な人物
- ・歴史の学びを高い次元で捉えるために必要な視点
- ・これからの時代を迷いなく歩むための羅針盤を
- ・歴史の大転換点から見る、日本人の生き方
- ・今のテーマ、過去・現在・未来のヒント

...など、歴史を単なる知識としてではなく、
実戦で使える知恵という形でお伝えしています。

また、日本の歴史を俯瞰して学ぶ上でもこの時代は重要なパートになりますので、
ぜひ、この「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」でしっかりと学んでいって下さい。

購入者限定特典

「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」

1ヶ月間の徹底解剖メール講座

また、今回の「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」をご購入いただいた方限定で、
講義映像の内容をさらに深めた内容をお伝えしていく
1ヶ月間の「徹底解剖メール講座」をご用意しました。

このメール講座では、3日間に1通、計10通のメールを配信していきます。

メール講座の中では、90分という時間の中ではどうしてもお伝えできなかった
聖徳太子や蘇我氏に隠された秘密など、一般的には語られていないような
かなり踏み込んだ内容までお伝えしていきます。

動画に加えてこのメール講座を受講していただくことで、
歴史に関する知識はもちろん、それが自分の人生とどう繋がり、
どう活かしていくべきなのか。

また、歴史上の偉人である聖徳太子や蘇我氏、藤原氏など、
何を考え、何を成し遂げようとしていたのか。

そんな「歴史の裏側」に隠された真実が
より明らかになることでしょう。

価格について

このセミナーでは、私が歴史を学ぶ上で
何万もの資料を読み込んで知り得たことはもちろん、
現地へ赴き、実際に人に会って詳しく聞いたことを 90 分間に凝縮してお伝えしています。

一般的には伝えられていないような領域に踏み込んだことも話していますし、
その内容をお伝えするために、膨大な情報を集め、
先人の知恵を体得するための準備をさせていただきました。

火鳥風月の活動の目的は日本人の意識改革です。

私が知り得たことを元にお金儲けをしたいのではなく、
より多くの人に、歴史を学ぶことを通じて
日本人としての誇りを取り戻し、大和魂を宿して頂きたいのです。

ですので、「高すぎて受講できない...」という自体は避けたいですし、
私は一人でも多くの人にお伝えしたいと思っています。

だからこそ、今回は誰でも気軽に購入できる価格設定として、
4,320 円 (税込み)とさせていただきます。

また、オンライン受講という性質上、
何回でも繰り返し動画で学ぶことができるので、
繰り返し見ることで、どんどん学びを深めてもらいたいと思います。

これから火鳥風月では、今回の飛鳥時代だけにとどまらず、
様々な時代の歴史背景を解説し、日本人の本来あるべき姿、
精神性を取り戻していく活動を行っていきます。

今回の「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」は一つのきっかけにすぎないですし、
この講座を通じて、「日本人として生きるとはどういうことなのか？」ということを感じ取っていただくと幸いです。

それでは、「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」の講座内でお会いしましょう。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

こがみのり

<「火鳥風月 秘伝の書 ～飛鳥時代編～」を購入する>

<特定商取引法に関する表記>